

【氏名】

小椋 紀行（おぐら のりゆき）

OGURA Noriyuki

【所属(職位)】

造形学部建築学科（准教授）

【取得学位】

博士（工学）

【略歴】

- 1997年3月 名古屋工業大学大学院工学研究科・社会開発工学専攻 博士後期課程 修了
- 1997年3月 学位 博士（工学）取得（名古屋工業大学 学位論文「鋼管・フープ筋で拘束されたコンクリート柱の一軸圧縮強度に関する研究」 第197号）
- 1997年4月 東京工業大学工学部建築学科 助手（至1998年3月）
- 1998年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 講師（至2005年3月）
- 2005年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 助教授（至2007年3月）
- 2005年4月 愛知産業大学造形学研究科建築学専攻 助教授（至2007年3月）
- 2007年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 准教授（職名廃止による変更）（現在に至る）
- 2007年4月 愛知産業大学造形学研究科建築学専攻 准教授（職名廃止による変更）（現在に至る）
- 2019年4月 愛知産業大学造形学研究科建築学専攻 専攻長（現在に至る）

【主な担当科目】

建築構造力学、複合構造構造、建築実験

【主な研究分野】

鉄筋コンクリート構造

【所属学会等】

日本建築学会、日本コンクリート工学協会、日本工学教育協会

【主な研究テーマ】

1. 児童向け建築教育模型の開発
2. 建築構造分野における能動的教育に関する研究
3. 鉄筋コンクリート部材の破壊過程に関する研究

【主な研究・発表等業績】

1. 「異形鉄筋の付着割裂破壊に関する解析的研究」、日本建築学会構造系論文集、No.586、2004年12月
2. 「主筋の付着がせん断抵抗機構に及ぼす影響」、日本コンクリート工学年次論文集、Vol.27、No.2 pp. 745 – 750、2005年6月
3. Analysis of bond splitting failure for deformed bar, Engineering Structures Volume 30, Issue 2, February 2008 Pages 428–435, 2006
4. 「児童向け構造模型キットを用いた建築教育」、日本建築学会学術講演梗概集、pp. 51–52、2017.7
5. 「建築実験系授業におけるアクティブラーニングの導入」、日本建築学会学術講演梗概集、pp. 211–22、2018.7

【社会的活動】

【その他の活動】